

鹿嶋市教育振興基本計画

主体的に学び 人とつながり
未来を拓く 鹿嶋っ子

2025年度 高松小・中学校グランドデザイン

高松小中一貫校 教育目標

豊かな学びを創造し 地域とともに伸びる 高松っ子

小中一貫教育の目指すこども像

「夢に向かい 力強く未来を切り拓く 自立した児童・生徒」

学校教育指導方針

すべての子どもの可能性を
引き出す活力ある学校づくり
～茨城県の未来をつくる「人財」の育成～



高松小学校

- 組織目標** 共に学び合い 豊かな表現力を身に付けた児童の育成
児童像 自ら挑戦し他者との協働で自分のよさを伸ばし成長する児童
教師像 地域と協働し愛情を注ぎ児童のよさを伸ばし共に喜べる教師

高松中学校

- 組織目標** 共に学び合い グローバル社会で活躍する生徒の育成
生徒像 自分自身を高め 新しいものに挑戦する生徒
教師像 生徒一人一人のよさを認め伸ばす教師

小中一貫教育の推進【特色ある5つの学びの構想】

英語教育

- ・中学校英語の授業週5時間の拡充による実用英語力の強化
- ・中学校卒業までに英語検定3級レベルの生徒を70%以上
- ・イングリッシュデーの推進と活用の場の工夫による日常化
- ・他機関を活用しての英語教育の充実



キャリア教育

- ・キャリアパスポートの改訂による9年間を見通した基礎的、汎用的能力の育成
- ・小中合同職業人の話を聞く会による、継続した職業観の育成
- ・国際理解教育を推進しグローバル社会で活躍できる素地の育成
- ・高松公民館の機能を活用してのキャリア教育の充実



学習指導

- ・中学年ブロックから一部教科担任制、小学6年で全教科担任制を実施
- ・9年間を見通した指導連携により丁寧な指導（「学びの系統表」活用）
- ・生徒指導機能を踏まえた授業づくり
- ・NIE教育による、読み書き能力の向上
- ・習熟度別学習・学び直し機会の推進



個別支援

- ・施設一体型、小規模校の特性を生かした個別支援体制の充実
- ・「校内支援センター」の利用促進
- ・保護者の教育的ニーズ等に応じた特別支援教育体制の充実
- ・インクルーシブ教育・合理的配慮を踏まえた集団生活での個別支援の充実



交流・体験活動

- ・豊かでたくましい心の育成のための小中合同実施
- ・人の役に立てる態度を育むための小中福祉体験、ボランティア活動の実現
- ・校種を超えた異学年交流の充実
- ・小中合同委員会活動・異学年集団活動



【小中一貫校の充実】

■教科担任制の実施

◇専門教科担任制を小4～5年は音・図・体・英・家の技能教科を中心に小学6年は全教科で系統性を踏まえた授業を実現する。

■教育課程の工夫

◇小中合同の教育活動が円滑に行うための授業開始時刻等を調整し効率的で実践的な教育課程を編成する。

■教職員の合同研修

◇小中合同校内研修は共通課題で取り組み、9年間を見通した学習・生活指導を推進する。教職員の資質・能力の向上を目指す。



【地域との連携強化】

■学校運営協議会（CS）・高松公民館との連携促進

◇地域活動支援員との連携で学校教育と社会教育の融合を図り、CS・公民館による学校への支援体制を推進する。

■地域の特色を生かした取組

◇地域の人的・物的資源を有効的に活用し、伝承文化の継承を取り入れた特色ある教育活動を展開する。

■学校HP等による積極的な情報発信

◇小中一貫教育の取組や日常の学校生活等をHPや各種便り等に掲載して積極的に情報発信の継続に努める。



【働き方改革の推進】

推進委員会を中心とした実践

- ◇毎週木曜日の定時退勤
- ◇年休14日/年以上の推進（時間給取得の推進）
- ◇推進委員会でのキャブ・カットの見直し
- ◇定期的な評価
- ◇学校運営協議会・PTAへの協力依頼